第2回岐阜市ゼロカーボン市民懇談会2.0
2026/10/10【講演①】

各地で展開される気候変動対策に向けての市民の議論の場

三上直之

名古屋大学大学院環境学研究科

気候市民会議とは？

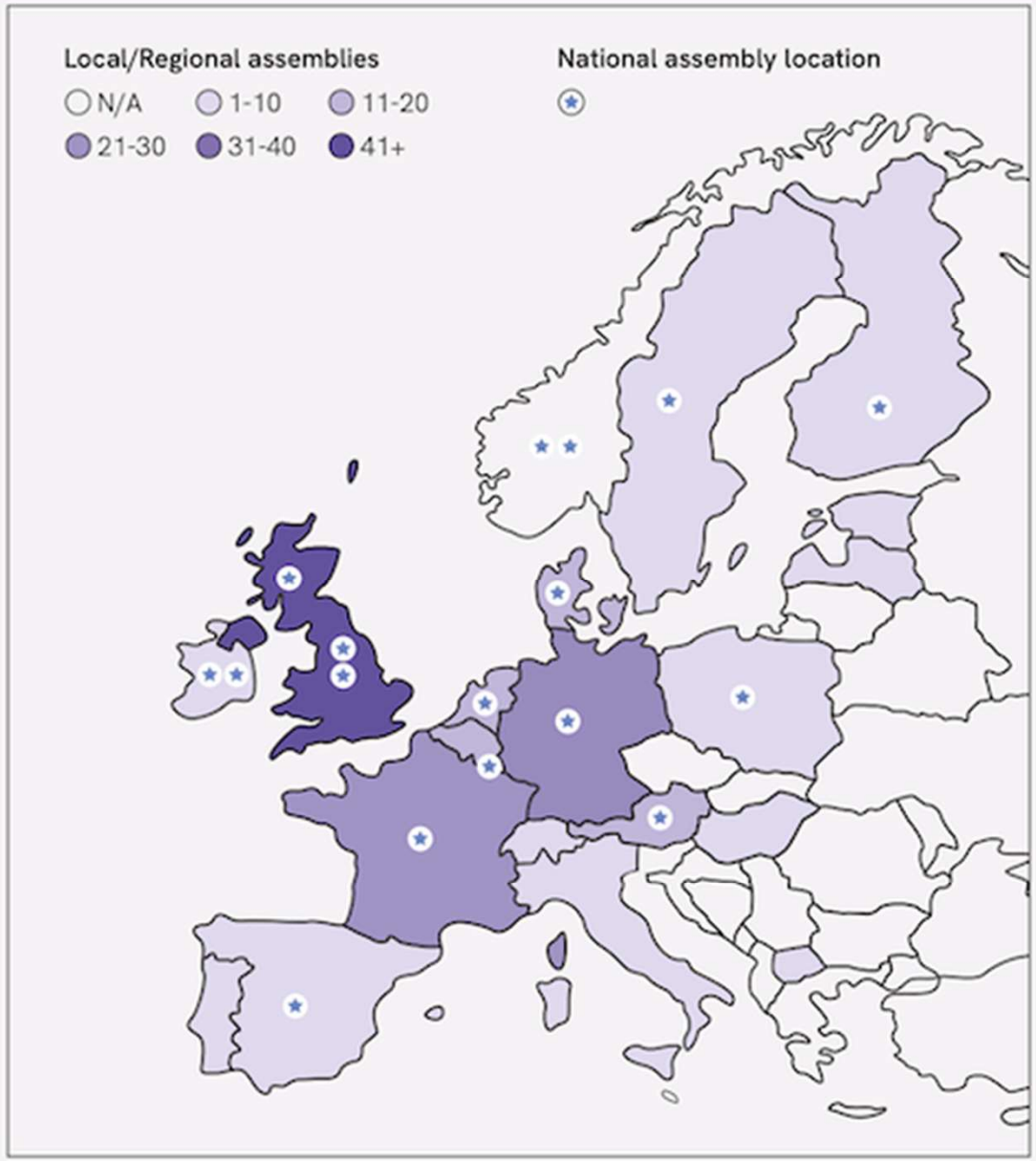
だれが？社会の縮図となるように**無作為に選ばれた**数十人～百数十人の参加者が

どのように？バランスのとれた情報提供を受けて、参加者主体でじっくりと議論（**熟議**）

何をする？議論の結果を**提言などの形でとりまとめる**

何のために？とりまとめた結果は、脱炭素社会の実現に向けた**効果的な政策・対策を生み出すために活用**する

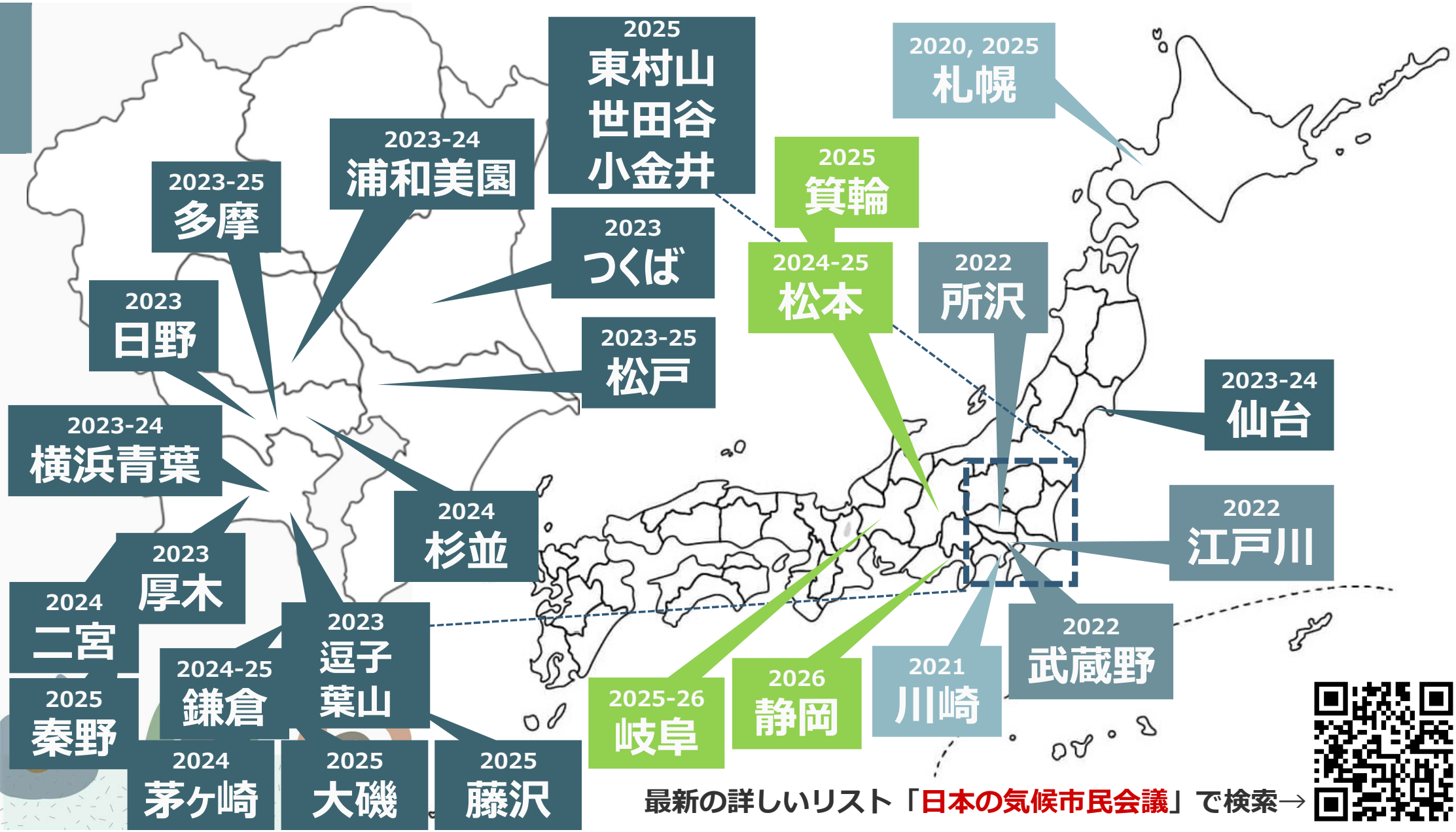




Local/Regional assemblies

UK	53	Portugal	2
Germany	31	Ireland, Latvia, North Macedonia	1
France	27		
Austria	15		
Belgium	12	Brazil, Canada, Japan, Maldives	3
Denmark, Netherlands	11	Australia	2
Poland	9	India	2
Italy	7	Columbia, Lebanon, USA	1
Spain, Switzerland	6		
Estonia, Finland, Hungary, Sweden	3		

KNOCA “Climate Assemblies: Emerging Trends, Challenges and Opportunities A Report of the Knowledge Network on Climate Assemblies” June 2025
https://www.knoca.eu/current-trends/climate-assemblies-emerging-trends-challenges-and-opportunities



最新の詳しいリスト「**日本の気候市民会議**」で検索→

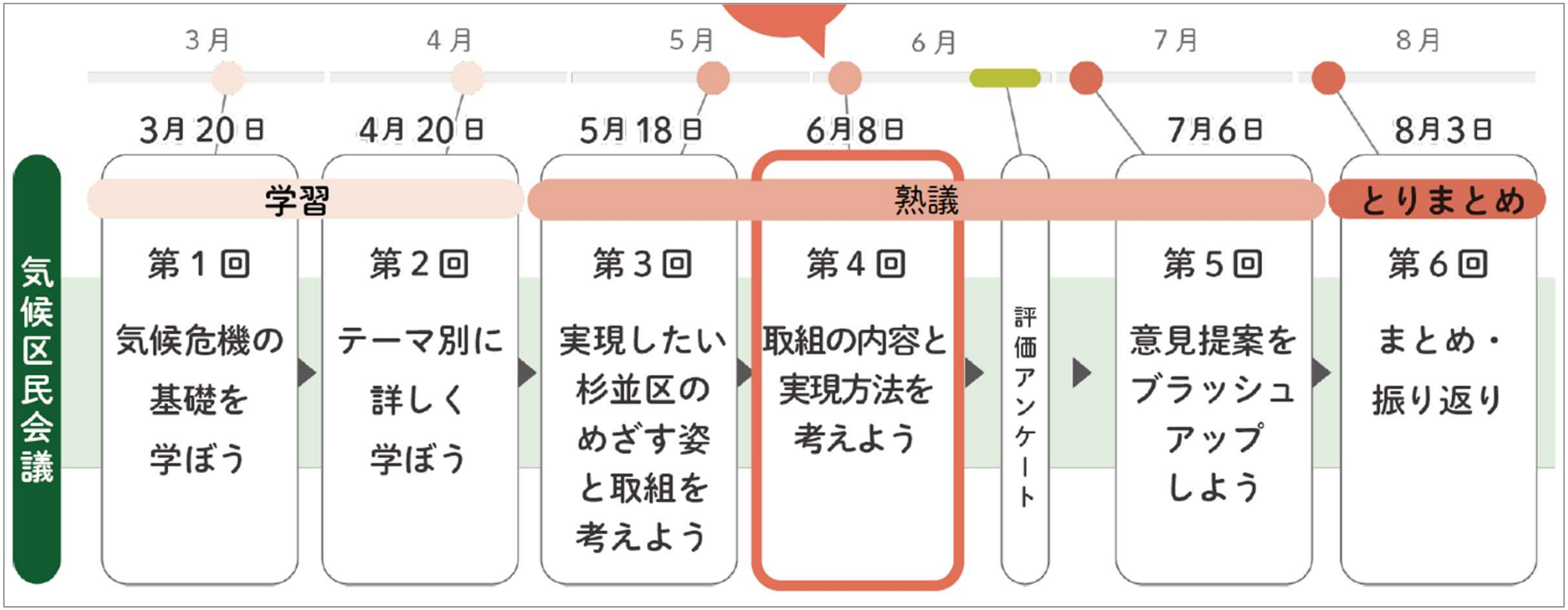
ミニ・パブリックス

＝無作為選出などで社会全体の縮図となる参加者を集めて議論を行い、その結果を政策決定などに用いる市民参加の方法

- 1970年代に欧米で始まり、90年代以降は日本を含む世界各地で幅広く用いられてきた。
- 今回の「ゼロカーボン市民懇談会」のような気候市民会議は、ミニ・パブリックスを気候変動対策の議論に応用したもの。

会議スケジュールの例

杉並区気候区民会議 2024年3月～8月



出典：第4回杉並区気候区民会議全体スライド

意見提案の例

エネルギー

テーマ・意見提案の概要

化石燃料から脱却し、エネルギーを地域でつくって、地域で使うことで、杉並区内の経済の活性化にもつなげていく視点が重要です。住民の暮らしから発生する二酸化炭素の排出量（家庭部門）が多い杉並区では、一人ひとりが生活で使うエネルギーについて見つめ直すことを後押しする仕組みや、まち全体で省エネ・再エネを進める取組を提案します。

取組 01
再エネを近所の人たちとみんなで安心して導入できるようにする



取組 02
省エネ・再エネ住宅の推進パッケージをつくる



取組 03
区民や事業者が協力・連携したくなる「杉並消灯日」を設ける



取組 04
床発電や太陽光パネルを公共施設等に設置し、省エネ・再エネに関する啓発を充実させる



取組 05
区民が参加できるような事業体「杉並電力」により、自分たちでコツコツと積み上げて発電し、再エネを地産地消するまちにする



取組 06
交流自治体や地方と再エネを起点にした相互的な協力体制をつくる



取組 07
家庭でお得に省エネ・再エネにチャレンジできる情報ポータルを整備する



取組 08
区民・事業者・杉並区で気候変動対策の取組を考える場を設け、積極的に情報を発信する



取組 09
化石燃料由来の電力から再エネ由来の電力に切り替えるための情報発信とサービスを提供する



循環型社会

テーマ・意見提案の概要

循環型社会の実現は、将来世代に負担をかけない持続可能な暮らしにつながります。個人の生活の中で少しずつ取り組むことも大切な一方で、私たちが使うモノがつくられる過程から変えていくことが大切であり、事業者や行政のチカラが欠かせません。そのため様々な主体が連携して、仕組みを変えていくための積極的な取組を提案します。

取組 10
区内のイベント・お祭りで、フードロスやごみの削減につながる取組を行い、区民の環境意識を高める



取組 11
杉並循環ラボをつくる



取組 12
杉並式ごみ可視化システムをつくる



取組 13
一度使ったものをシェア・リペア・アップサイクルできる拠点を創出し、区民へ普及させる仕組みをつくる



取組 14
区民が日常的に自分が使っているお気に入りの容器（マイリユース容器）を使うことができる環境を整備する



取組 15
杉並区内の生ごみを資源化し、杉並モデルの循環システムをつくる



取組 16
リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会をつくる



取組 17
リサイクルについて目に触れる機会をまちの中に増やし、リサイクルしたくなる環境を広める



出典：杉並区気候区民会議「ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた意見提案」

意見提案の例

みどり

テーマ・意見提案の概要

住宅地である杉並区にとって、みどりは大切な地域の資源です。気候変動対策という視点では、酷暑や豪雨が激化する中で、みどりは日陰による暑さの軽減や、グリーンインフラとして雨水を浸透させるといった役割を果たしてくれます。みどりを地域の資源として次世代に受け継ぐためには、適切な維持管理が重要であり、みどりに触れて体感するなど、その大切さを理解する区民を増やして地域全体で守り・育てていく仕組みを提案します。

取組 18
樹林しか勝たん！私有地のみどりを区民が推し活として守るムーブメント「推し樹林」をつくる



取組 19
みどりのおもてなし 駅周辺や大規模な土地に、杉並の顔となるような良質なみどりをつくり区民と守り育てる



取組 20
お願い「みどり先輩」！ みどりに詳しい区民を増やすために、身近なみどりの専門家とつなぐ「みどり先輩マッチングサービス」を立ち上げる



取組 21
公共のみどりの整備をきっかけとした、コミュニティや活動の場を創出する



取組 22
歩いて10分森林浴ができる杉並区を実現する



取組 23
一人で始められるみどりを増やすためのサポートを充実させる



取組 24
「わたしが緑を増やさなきゃ」と思える新たなグリーン指標をつくる



取組 25
緑視率30%の小さなモデルエリアをつくる

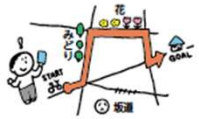


交通

テーマ・意見提案の概要

杉並区内では自転車や徒歩など二酸化炭素の排出量が伴わない手段による移動が多く、排出が伴う移動をさらに減らし、排出量が少ない手段に切り替えていく必要があります。そこで、人と環境にやさしい交通システムを築いていくための仕掛けや仕組みを提案します。

取組 26
車利用からの転換を推進するため、徒歩や自転車の利用を促進するようなアプリを開発し、便利さ・楽しさを伝える



取組 27
自動車を使わないことが杉並を楽しむことにつながるポイント制度を設ける



取組 28
車利用から自転車への切り替えを促す事業者の取組にインセンティブをつける



取組 29
物流で使う自動車を減らすために、商用「車」から商用「X」に変化させる



取組 30
東西の移動だけでなく南北移動も省エネで移動できる選択肢を増やす



取組 31
区内の移動を快適に！南北を楽しく空でつなぐ



取組 32
交通結節点を人にやさしく付加価値の高い場にする



取組 33
四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる



出典：杉並区気候区民会議「ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた意見提案」

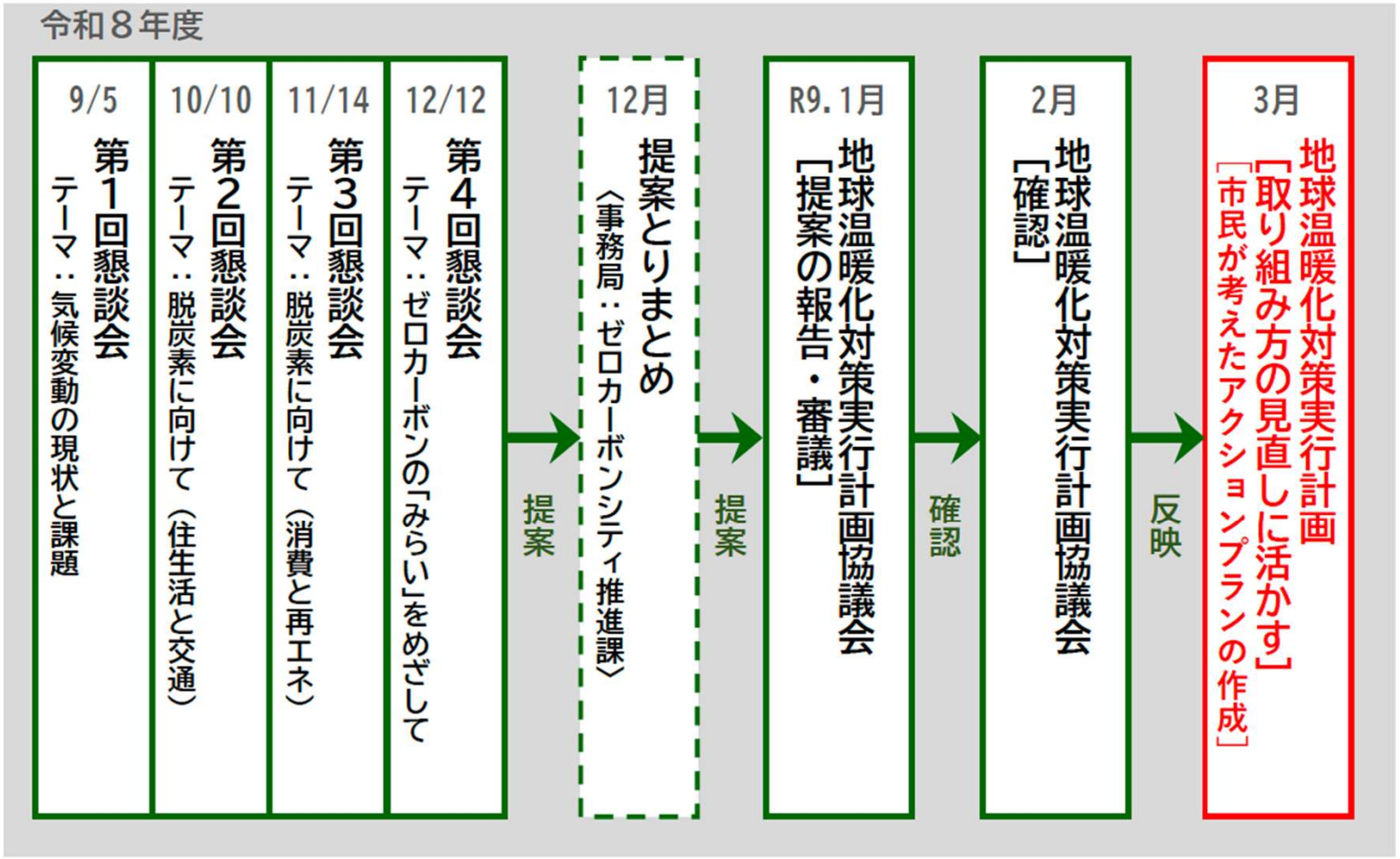
なぜ、無作為選出型の市民会議なのか？

- 幅広い市民や企業の行動の変化を起こすには、個人的、局所的な取り組みでは不十分。**政策などの社会的な取り組み**が必要。
- 排出削減に効果がありそうな政策、取り組みの候補は多くある。が、それぞれの国や地域で、実際に**どの対策が効果的であるかは、専門家や行政も断言できない**。
- 異なる背景や経験を持つ**多様な市民**が集まり、問題について知り、**ともに考え、話し合うことで、実効性のある対策が生まれる**。

気候市民会議が生み出しうる効果

- **【埼玉県所沢市】**市が公式に行った気候市民会議の結果が、同市の**環境基本計画の改定に反映**された。
- **【茨城県つくば市】**市や研究機関が協働で開催した気候市民会議が作成した提言について、**市長が74項目すべてに対応することを約束**。市の**温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定が1年前倒し**に。
- **【神奈川県厚木市】**市民団体と行政が協力して気候市民会議を開催。得られた**アクションプランを実行に移す、市民主導の「未来プロジェクト」**が始まっている。
- **【海外での事例】フランス**では2019～20年に政府が主催した気候市民会議の提言に基づき、近距離の国内航空路線の段階的整理や、商品やサービスの温室効果ガス排出量の表示の義務付けなどを含む**新たな法律が制定**され、すでにその一部が施行されている。**英国**では2020年に議会が気候市民会議を主催。結果は、**議会での気候変動対策の議論に活用**された。

◇この懇談会で出された「提案」の活用までの流れ



出典：第1回岐阜市ゼロカーボン市民懇談会2.0ゼロカーボンシティ推進課説明資料

効果的な意見提案につなげるために

- 出発点：自分自身が、家での暮らしや買い物、移動、ごみの排出などの場面でできること／すべきことは何か（＝アクション）
- そのようなアクションを、自分自身や家族、周囲の人も含む幅広い岐阜市民が起こしやすくするには、どのような取り組みや政策が効果的か
  - 情報発信や教育
  - 補助金などのサポート
  - 新たなルールづくり
  - インフラの整備　など

まとめ＝この3つを印象に残していただければ十分です

- 皆さんが今、参加している「気候市民会議」は、数十年の実績がある市民参加の手法を気候変動対策に応用したもので、2019年頃から国内外で広く行われています
- 専門家から正しい答えを教わる場ではありません。自分たちの生活経験を持ち寄り、効果的な対策を一緒に考え、提案することに意味があります
- 話し合いの結果は岐阜市の政策に生かされます

参考資料

- **日本国内での気候市民会議一覧**
  https://citizensassembly.jp/project/cd_kaken/jp-list
- **ミニ・パブリックス**
  OECD著、日本ミニ・パブリックス研究フォーラム訳『世界に学ぶミニ・パブリックス：くじ引きと熟議による民主主義のつくりかた』学芸出版社、2023年
- **なぜ無作為選出型の市民会議なのか～脱炭素社会への転換と民主主義のイノベーション**
  三上直之著『気候民主主義：次世代の政治の動かし方』岩波書店、2022年



